

議会

- 第4回定例会 -

12月14日に招集された第4回定例会町議会は、17日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告(概要)についてお知らせします。

町長行政報告

1 新型コロナウイルス感染症対策等

○対策本部会議の開催状況
昨年2月26日に「新冠町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置して以来、出席職員数を調整したうえで、連日、定例の本部会議を開催し、現在に至っています。

○感染状況等

11月19日、南アフリカで新たな変異株・オミクロン株が発見され、世界の50を超える国で感染拡大が確認されており、11月30日には日本国内でも初の感染者が確認されるなど、今後の感染拡大が懸念されます。日高管内においては、10月12日に1名の感染が確認されて以降、新規感染者は確認されていません。このような状況のなか、当町にお

いては緊急事態宣言期間中、休館・休業していましたが各種公共施設について、9月30日の緊急事態宣言解除を受け、一部の施設利用における制限措置を除き、10月1日から通常どおり開館・再開しています。

○感染症ワクチン接種
10月末におけるワクチン接種対象となる12歳以上の接種状況は、対象者が4830名に対し、接種者4220名で接種率は87.4%となっています。

3回目のワクチン接種について、国は2回目接種完了から原則8カ月経過後に3回目接種が可能となるよう体制整備を市町村へ求めていることから、当町でも12月1日より保健センターにおいて接種開始できる環境を整えています。

また、当町の接種予定に関してですが、12月から1月は、8カ月を経過する医療従事者と高齢者施設等従事者が対象となります。2月以降に8カ月経過順に高齢者から順次年齢を引き下げて接種していく予定とされています。

2 日高地域公共交通確保対策協議会の取組状況

バス運行の現状は、コロナ禍の影響もあり、4月の運行開始から利用者数は低調な状況が続いているため、今後におけるバス利用の促進対策について、協議が行われています。利用者増加に向けた協議では、対策として「バス利用PRの強化」、そして「特急と

まも号」の利便性を高めるために「車内トイレ設置の推進」と「車椅子リフトの設置推進」などを決定しました。

また、廃止後の鉄路に関わる協議では、踏切道の整備について繰り返し協議が行われましたが、舗装工の在り方についてJR北海道と各町は同意に至らず、また7町間においても見解が異なるため、今後は各町とJR北海道との個別協議により議論を行うこととなりました。

ダイヤ改正の協議では、バス転換後、土日祝日における通学通勤便がなくなり、当町ではコミュニティバス及びデマンドバスの代行によって利用者の足の確保を図ってきましたが、当町の要望に応える形で、ダイヤ改正が行われ、同便の運行が新たに設定されることとなりました。

3 感染症対策協力金追加支援の実施結果

国は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う人流抑制の観点から飲食業を営む事業者に対し、さまざまな営業規制の協力を求めていることを鑑み、飲食事業者を対象に事業者支援の政策を決定し、地方公共団体に対する支援事業対策費として、地方創生臨時交付金追加支援を行いました。当該追加支援に係る当町への交付金額は850万円でした。

本事業は、町内の事業者及び町民が経営する飲食店、宿泊業、そして美術館などを対象とし、また、支援金額を従業員数に応じて定め、支援

しました。支援の実績は申請件数34件、支援総額は915万円となっています。

4 町政懇談会の実施結果

各自治会を対象とした町政懇談会は、11月15日から18日及び25日の5日間、11会場、34自治会の方々から町政に係るさまざまな事項について、意見などをいただきました。ご意見などに対しては、現状を説明することによりご理解いただいた事項もあれば、即座に、あるいは次年度以降において対応すべき事項もあり、それぞれの担当課が対応に当たっています。



女性コミュニティ会議との町政懇談会の様子

この度の懇談会では、女性と若い世代の声を聴き取るために女性コミュニティ会議及び青年団体連絡会議との町政懇談会も実施しました。11月24日、6名の会員の参加によって行われた女性コミュニティ会議との町政懇談会では、女性の交流事業促進のための情報発信に対する支援

を求める声など女性の視点に立ったご意見をいただきました。また、11月29日、11名の参加者によって行われた町青年団体連絡会議との懇談会では、当町の若者がまちづくりへの参画と支援について協力を惜しまないという強い意志、そして町の未来を共に築くという気概を強く感じた懇談会となりました。

5 日本ハムファイターズ応援大使事業の実施結果

北海道日本ハムファイターズが毎年18市町村に複数の選手を応援大使として任命し、市町村を応援する北海道日本ハムファイターズ応援大使事業を実施しました。

11月20日、日本ハムファイターズから2名の球団職員の派遣を受け、スポーツセンターで野球教室を開催しました。当日は小学生22名、中学生9名の参加があり、参加した児童生徒は、普段とは異なる練習と技術指導に汗を流しながら野球教室を楽しんでいました。

11月30日、レ・コード館シアターで開催された日本ハムファイターズファンフェスティバルでは、29名の参加者があり、応援大使である清宮幸太郎選手、谷口雄也選手とオンライン交流を行いました。交流の中では、両選手への質問と激励が行われたなど、オンラインではありましたがプロ野球選手との交流は、貴重な体験になったと思います。オンライン

ン交流の後には、ファイターズグッズの抽選会も行われました。

6 第三セクター株式会社新冠ヒルズの解散に係る取組経過等

10月7日、町は株式会社新冠ヒルズから「新冠温泉レ・コードの湯の管理に関する仕様19の規定及び協定第38条に基づく指定管理の取り消しに関する協議について」通知を受けました。当該通知は、事業継続が困難となった時、町と指定管理者は、事業継続の可否について協議することを定めているほか、相手方に対して指定取り消しの協議を求めることができるとしています。

株式会社新冠ヒルズの申し出は、筆頭株主である新冠町が示した方向性を受け、社内決定機関の協議によるものであり、会社の確固たる決断と判断できたため、町としても会社の意思を尊重させ、これら一連のことを10月8日開催の議会全員協議会において説明したところです。

これにより町は、株式会社新冠ヒルズに代わる新たな指定管理者を決定するため、10月8日から11月19日までの間、公募を行ったところ4社からの応募があったことから、早速、「新冠町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」第4条に基づき指定管理者選定委員会を設置し、指定管理者の候補の選定を諮問したところです。

これを受け12月2日、3日の両日、新冠温泉レ・コードの湯等指定管理

者選定委員会が開催され、選定審査を行った結果、富良野市に拠点を置く北海道ホテル&リゾート株式会社を選定した旨、12月6日付けで選定委員会委員長から答申を受けたところです。



選定委員会委員長から答申を受ける町長

7 令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業

11月19日に閣議決定された、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、子育て世帯等臨時特別支援事業が実施されることになり、子育て世帯に対する適切な配慮を行うことを目的に、子ども一人当たり5万円の現金支給をしようとするものであります。

※行政報告後、本定例会2日目の追加議案において、子ども一人当たり5万円から10万円にすることが議決されました。詳しくは、12月24日発行の町政事務委託文書をご覧ください。

8 福祉灯油支給事業の実施

福祉灯油支給事業は、灯油価格の高騰により生活に大きな影響を受け

る世帯に対する特別な対策として、1万円分の「あつたか灯油券」を支給する事業で、支給対象者の基本要件は、12月1日現在で町内居住の方で、生活保護世帯を除く、本年度の町民税非課税世帯です。

基本要件を満たした方の中で、65歳以上の高齢者世帯・障害者手帳所持者がいる世帯及び、ひとり親家庭等医療費受給者証の交付を受けている世帯、並びに、その他65歳以上の方と18歳以下のみで構成される世帯を対象としています。

9 11月9日～10日にわたる豪雨被害の状況

発達した低気圧の通過により大気の状態が不安定となり、日高地方は11月9日から10日にかけて季節外れの大雨に見舞われました。

当町においても、9日から10日にわたって、24時間雨量は、新冠市街地で124ミリ、笹山で96ミリ、その他の町内の観測地点でも100ミリ以上を記録しています。

被害の状況ですが、雨量に比べまして、比較的小規模でありましたが、町道法面の土砂崩れや道路側溝の土砂埋塞、河川などにおいても土砂埋塞及び越水などが発生し、緊急を要する箇所については、既定予算内で対応に当たりましたが、その他の被害箇所については、復旧予算での早期対応が必要と判断したことから、第4回臨時会で予算を議決いただき、復旧に着手しているところです。